

熊本市第8次総合計画 令和6年度アクションプラン(案)

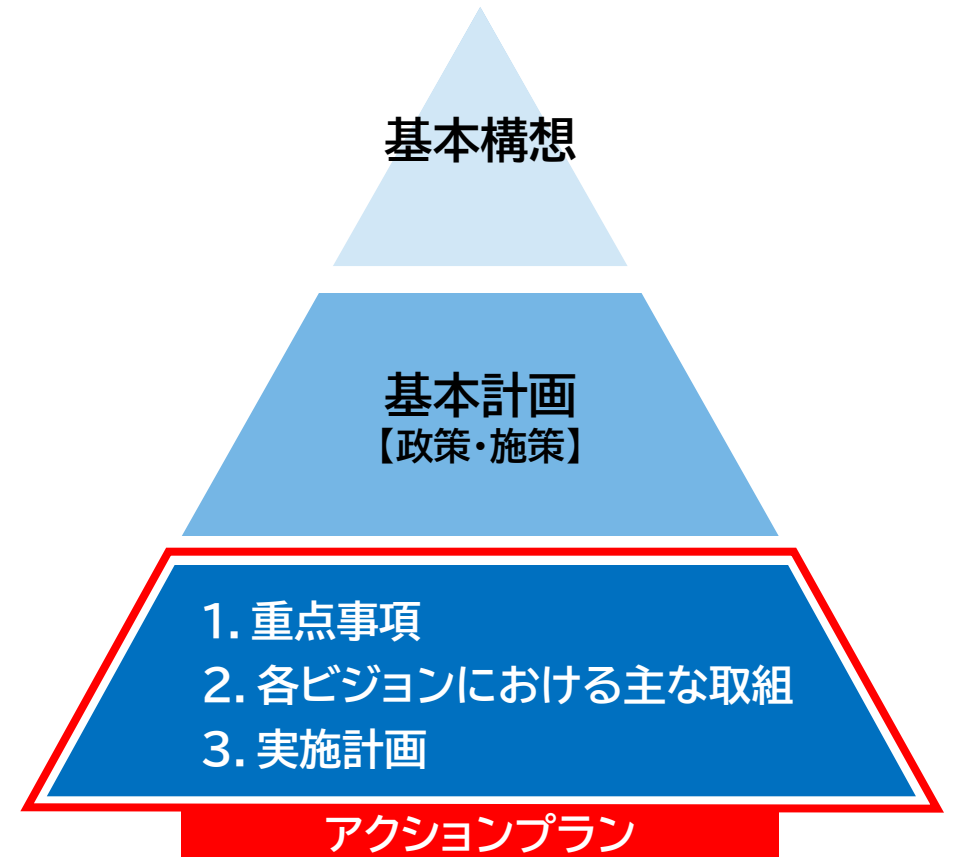
1. 重点事項
2. 各ビジョンにおける主な取組

感じる計画! PLAN^{to}FEEL!

令和6年(2024年)6月

アクションプランについて

- ✓ 本アクションプランは、総合計画を構成するもの（基本構想、基本計画、アクションプラン）であり、当該年度の重点事項や基本計画に掲げた施策の具体的な事業、検証指標などをとりまとめたものです。
- ✓ 国の動きや社会経済情勢、市民ニーズ、行政評価の結果等を踏まえ、予算編成とも整合を図りながら、毎年度策定・公表することとしています。
- ✓ なお、「1. 重点事項」及び「2. 各ビジョンにおける主な取組」をとりまとめた本冊と、個別事業をとりまとめた「3. 実施計画」とは、別に作成します。

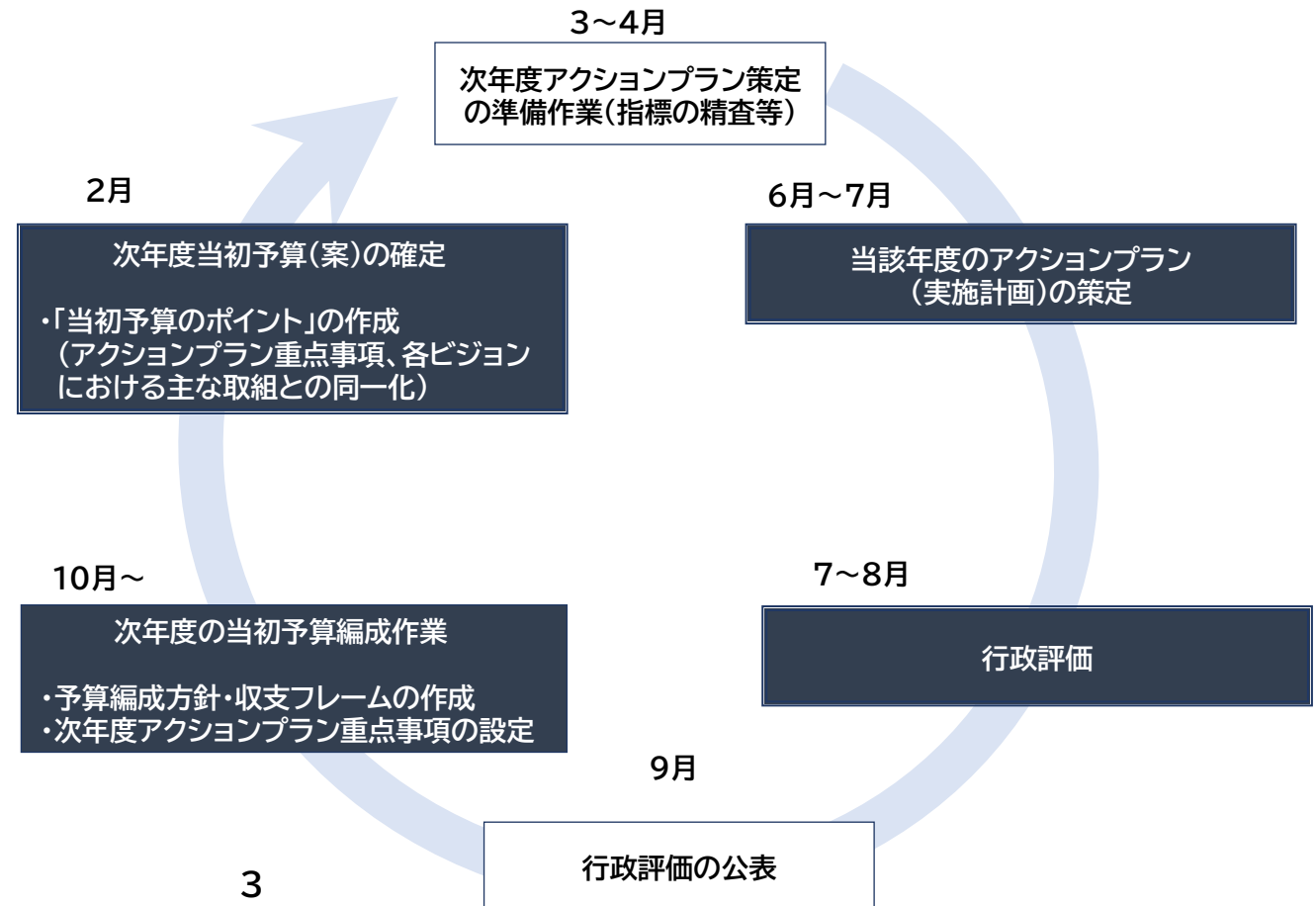


第8次総合計画の着実な推進に向けたマネジメント(PDCA)サイクル

1. 年間を通して、第8次総合計画の「8つのビジョン」(P)について、事業の進捗状況(D)や行政評価の結果を踏まえた課題の把握・分析(C)を行い、必要な施策展開のための調整や協議、企画立案(A)を行います。(PDCAサイクルの推進)
2. 特に、マニフェストの進捗管理や社会経済情勢の変化等を踏まえた新規拡充施策について、次年度予算で対応が必要なものは予算編成前に十分な検討を行うとともに、必要に応じて補正予算での対応を行います。
3. 庁内においても緊密な連携のもと、課題の共有と調整を図っていきます。

【年間のマネジメント(PDCA)サイクル】

行政評価、当該年度の事業やマニフェストの進捗管理、更には国の動向や社会経済情勢の変化等を踏まえ、次年度の施策展開へ繋げるマネジメントサイクルを構築します。



本市は、これまで平成28年(2016年)熊本地震の復旧・復興やコロナ禍からの回復に向けて着実に歩みを進めてきたところであり、昨年新型コロナウイルス感染症の5類感染症への移行に伴う各種制限の緩和や旅行需要の高まりなどにより、社会経済活動が正常化しつつあります。

このような中、熊本への半導体関連企業等の進出は、社会経済活動の回復軌道を更に促進し、地域全体の飛躍的な発展へ向けた好機となっています。

一方で、頻発化・激甚化する自然災害の脅威や不安定な国際情勢の変化等に伴う原油高、物価高騰などが、市民生活や地域経済に大きな影響を及ぼしております。

また、少子・高齢化、人口減少が進行し、社会保障費の増大や地域コミュニティの維持、生活サービスの維持などの諸課題が顕在化するとともに、ヤングケアラーなどのこどもを取り巻く事案が深刻化、複雑化するなど、少子化や人口減少への対応は喫緊の課題となっています。

さらに、国が推進していくこととしている「こども・子育て政策の強化」、「グリーントランスフォーメーション(GX)、デジタルトランスフォーメーション(DX)等の加速」、「人への投資」などを踏まえた対応も必要となっています。

このような社会経済情勢の変化や国の動向等も踏まえながら、適時的確な施策展開を実施し、「上質な生活都市」の実現に向けて取組を進めていくことが求められています。

目次

1. 重点事項	6
2. 各ビジョンにおける主な取組	9
ビジョン1:こどもが輝き、若者が希望を抱くまち	12
ビジョン2:市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち	16
ビジョン3:市民生活を守る強くしなやかなまち	20
ビジョン4:だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち	22
ビジョン5:豊かな環境を未来につなぐまち	24
ビジョン6:すべての市民がより良い暮らしを営むまち	26
ビジョン7:安全で良好な都市基盤が整備されたまち	29
ビジョン8:市民に信頼される市役所	32
区における自主自立のまちづくり	34

1. 重点事項

本市の最重要課題である人口減少への対応に力強く取り組み、希望ある未来を築いていくため、こどもを核としたまちづくりを進めるとともに、半導体関連企業の熊本進出を好機として地域経済の発展を促進し、魅力あるまちづくりを行っていく必要があります。

そこで、令和6年度は下記の2つを重点事項として取り組んでいきます。

重点事項1

こども関連施策の推進

重点事項2

半導体関連企業の熊本進出に伴う諸課題への対応

重点事項1 こども関連施策の推進

結婚から子育て、教育などのライフステージに応じた支援や、課題を抱えるこどもや若者に寄り添った支援など、様々な状況にあるこどもや家庭に対して、きめ細かな支援を行います。

本市を取り巻く状況	
✓	結婚・出産に対する価値観の変化、経済的負担、子育て環境、雇用への不安などを背景とした未婚化、晩婚化など複雑化した要因により、少子化が進行しています。
✓	児童虐待や権利侵害、貧困、ヤングケアラーなどこどもを取り巻く事案が深刻化、複雑化しています。
✓	こども一人ひとりを尊重した教育の推進が求められる一方、教員不足による学校への未配置が課題となっています。

これまでのアクション	
✓	こども医療費の高校3年生相当までの対象拡大や、ようこそ赤ちゃんプロジェクトなど、子育て世帯の経済的負担の軽減等を実施してきました。
✓	妊娠内密相談センターやこどもの権利サポートセンターを開設し、予期せぬ妊娠等に悩む方やこどものいのちと権利を守る取組を推進してきました。
✓	学級支援員の増員や大学と連携した教員確保策を実施してきました。

令和6年度の主なアクション	
<こどものいのちと権利を守る>	
「こどもの権利サポートセンター」によるこどもの権利救済 こどもの権利侵害に関するあらゆる相談通報に専門的に対応するほか、タブレットを使ったこどもからのチャット相談を24時間365日体制で実施します。	24,300千円 (17,400千円)
<結婚・妊娠・出産などの希望を実現>	
「結婚支援センター」の開設 AIマッチングシステム登録時にマイナンバーカードを活用した本人確認することで安全性・信頼性を確保しながら、結婚を希望するすべての方を支援します。	37,000千円 (2,000千円)
<こどもの健やかな成長と子育て家庭を支援>	
児童手当の拡充 支給対象を高校生まで拡充し、第3子は支給額を増額するとともに、所得制限を撤廃します。	13,384,000千円 (11,498,000千円)
こども誰でも通園制度(仮称)の試行的実施 0歳6か月～2歳の未就園児を対象に月10時間までの利用可能な枠の中で、就労要件を問わず時間単位で利用できる制度を試行的に実施します。	20,608千円 (一)
「こども家庭センター」の開設 すべての妊産婦、子育て世帯、こどもに対する相談支援体制を強化します。	109,733千円 (84,336千円)
<困難な状況にあるこどもや家庭を支援>	
「若者・ヤングケアラー支援センター」の開設 若者が抱える課題解決のため、専門的な相談支援員を配置し、アウトリーチ型の支援に加え、ヤングケアラーに関する専用相談窓口を開設するなど支援を強化します。	12,800千円 (16,337千円)
<教育環境の整備>	
不登校対策サポーターの増員による生徒の居場所づくり 中学校において、別室登校者への対応などを担うサポーターを増員し、生徒の校内における教室以外の居場所をつくり、校内支援体制の充実を図るなど、不登校支援の推進に取り組みます。	56,600千円 (40,400千円)

重点事項2

半導体関連企業の熊本進出に伴う諸課題への対応

半導体関連企業等の熊本進出を好機と捉え、地域経済の活性化を図るとともに、慢性的な交通渋滞の緩和や広域交通ネットワークの形成、増加する在住外国人を見据えた生活環境の整備、自然環境の保全などに取り組みます。

本市を取り巻く状況	令和6年度の主なアクション
✓ 地域経済発展の好機が到来する一方で、更なる人手不足の深刻化が懸念されています。 ✓ 在住外国人数が過去最高を更新しており、多文化共生社会の推進が求められています。 ✓ 慢性的な交通渋滞や交通拠点へのアクセス性が低く、市民生活や経済活動に影響を及ぼしています。 ✓ 半導体関連企業の進出を契機に、地下水への影響が懸念されています。	<戦略的な企業誘致> 半導体関連企業の誘致強化 TSMCのサプライヤー企業の調査やセミコン台湾への出展を実施します。また、産業用地の整備に向けて、関係機関協議や、開発許可・農地転用許可などの土地利用調整の支援に取り組みます。 14,500千円 (10,000千円) <人材の確保・育成> 人材の定着及び域外からの人材還流を促すための取組 こどもの頃から半導体を含む地場企業を学ぶ機会を通して、将来を見据えた人材育成に取り組むとともに、現在の人材確保のため、合同就職説明会やインターンシップ等を実施します。 71,200千円 (64,700千円) <国際交流・広報> 台湾に対する観光PR 台湾との直行便を活用した本市を起点とする周遊プロモーションを実施します。 6,000千円 (11,000千円) <交通環境> 「10分・20分構想」の推進 市中心部から高速道路ICや熊本空港までのアクセスを強化する「10分・20分」構想の実現に向けて、住民参加型の道路計画検討や環境保全に関する調査等に取り組みます。 261,000千円 (169,000千円) <住環境> 外国人受入環境整備 市立学校における日本語指導が必要な児童・生徒に係る日本語指導教育環境の充実や保護者面談等に対応するための通訳支援 25,800千円 (19,600千円) 庁内の翻訳・通訳体制の強化 台湾からの転入者増加を見据え、行政文書の繁体字等への翻訳や通訳体制を強化します。 3,722千円 (311千円) <自然環境の保全> 地下水及び公共用水域の監視強化 地下水及び公共用水域の調査地点を追加するとともに、新たにPFOS・PFOA等の監視項目を追加するなど、水質汚染の監視を拡充・強化します。 2,935千円 (一)

これまでのアクション
✓ 半導体関連産業の更なる集積に向けて、産業用地の整備に係る民間企業との協定締結、関係機関協議等を実施してきました。 ✓ オンライン合同就職説明会や移住者に対する支援金支給など、人材の流出防止と市外からの人材確保の取組を実施してきました。 ✓ 台湾を中心とした戦略的なプロモーションの実施や企業誘致を見据えた交通インフラ対策の検討、増加する在住外国人等を見据えた住環境の整備に取り組んできました。 ✓ 工場稼働に伴い、より一層の地下水保全に取り組んできました。

2. 各ビジョンにおける主な取組

熊本市第8次総合計画の基本計画に掲げる8つのビジョン及び区における自主自立のまちづくりにおける、令和6年度の主な取組を記載しています。

第8次総合計画

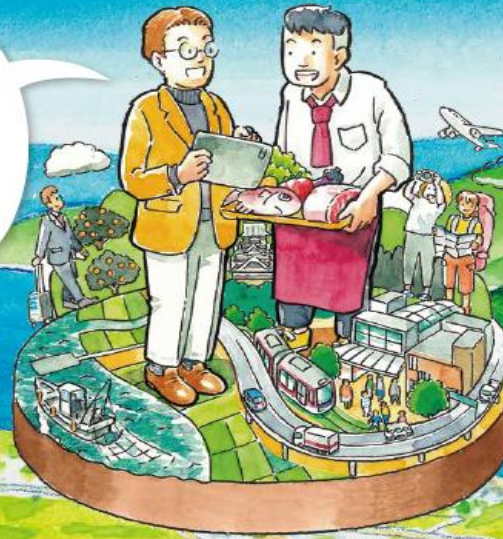
1

こどもが輝き、
若者が希望を
抱くまち



2

市民に愛され、
世界に選ばれる、
持続的な発展を
実現するまち



4

だれもが
自分らしくいきいきと
生活できるまち



3

市民生活を守る
強くしなやかな
まち



8つのビジョンに実現に向けて3つの横断的な視点を持って取り組みます。

の8つのビジョン

5

豊かな環境を
未来につなぐまち

6

すべての市民が
より良い暮らしを
営むまち

7

安全で良好な
都市基盤が
整備されたまち

8

市民に信頼
される市役所

「SDGsの推進」「デジタル化、DXの推進」「市域を越えた広域的な連携の強化」



◆ ビジョン1がめざす姿と取組の方向性

こどもの笑顔があふれ、若者をはじめとした多様な人々が希望を抱いて暮らすことができるまちを目指し、結婚、妊娠、出産などの希望を叶えるための支援とともに、こども基本法の理念にのっとり、こどものいのちと権利を守り、こどもの健やかな成長と安心してこどもを産み・育てることができる環境の整備を進めます。

また、すべてのこどもの最善の利益を確保するため、困難な状況にあるこどもや子育て家庭を支援する取組を進めるとともに、こどもを主体とした教育を推進します。さらに、次世代を担うこどもや若者はもとより、女性や高齢者、障がいのある人、外国人などの多様な人材が活躍できる環境の整備を進め、人材の定着と移住の促進を図ります。

◆ ビジョンを実現するための施策

1-1 すべてのこどもの健やかな成長と家庭の幸せへの支援	すべてのこどもに笑顔があふれ、子育てに夢や希望を持てるまちをつくります。
1-2 困難な状況にあるこどもや子育て家庭への支援	困難な状況にあるこどもや子育て家庭に適切な支援が行き届き、すべてのこどもの最善の利益が確保できるようにします。
1-3 こどもを主体とした教育の推進	充実した教育環境のもと、こども一人ひとりを尊重した教育を通して、これからの時代を切り拓くこどもを育てます。
1-4 まちを支える人材の確保・育成	性別、年齢、国籍などにかかわらず、多様な人材がそれぞれの能力をいかすことができる、住んでみたい・住み続けたいまちをつくります。

(関連するビジョン)ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち／ビジョン4 だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち／ビジョン6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち

ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち

子育てDX

アプリによるこどもの年齢に応じたきめ細かな情報提供

妊娠期から子育て期の保護者向けに、親子(母子)手帳の内容や子育て支援の施設・イベント等に関する情報を提供するアプリを構築します。

学校事務連絡アプリの本格導入によるお知らせ等の電子化

令和5年度に試験導入した保護者と学校等との連絡アプリケーションを市内全校に導入します。

☑市内全校に本格導入

R5:14校⇒R6:144校

公立保育所の一時預かり体制強化

一時預かりに係る専任保育士の増員や専用室の整備により受入れ可能人数を増やし、保護者の就労や傷病時の預かり体制を強化します。

☑受入れ可能人数の増

専任保育士2名増員
により1日あたり 【6名】の増

こども誰でも通園制度(仮称)の試行的実施

0歳6か月～2歳の未就園児を対象に月10時間までの利用可能な枠の中で、就労要件を問わず時間単位で利用できる制度を試行的に実施します。

☑実施園

R6:【市内8園】で受入れ

児童育成クラブの受入れ体制強化

飽田南校区にて民間委託によるクラブの開設準備を進めるほか、既存施設についても着実に改修を実施し、児童の受入れ体制を確保します。

☑飽田南校区(R7運用開始)

R7:【96クラブ】で受入れ

こどもの未来応援基金を活用した保育園等への玩具等支援

保育園等への玩具、本、教材等を支援します。(令和7年度に予定していた認定こども園、地域型保育事業所、認可外保育施設への支援を前倒しし全施設実施)

☑R7実施予定分の前倒し分

345施設:34,500千円

児童手当の拡充

支給対象を高校生まで拡充し、第3子は支給額を増額するとともに、所得制限を撤廃します。

1,298千円

14,800千円

13,564千円

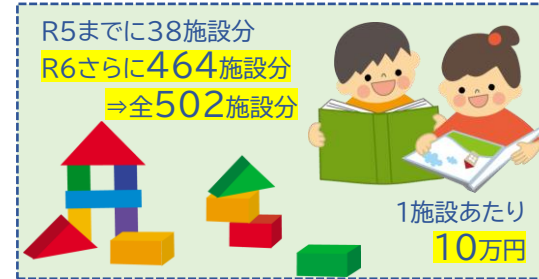
20,608千円
(全額R5.2補計上)

1,905,400千円

46,400千円

13,384,000千円

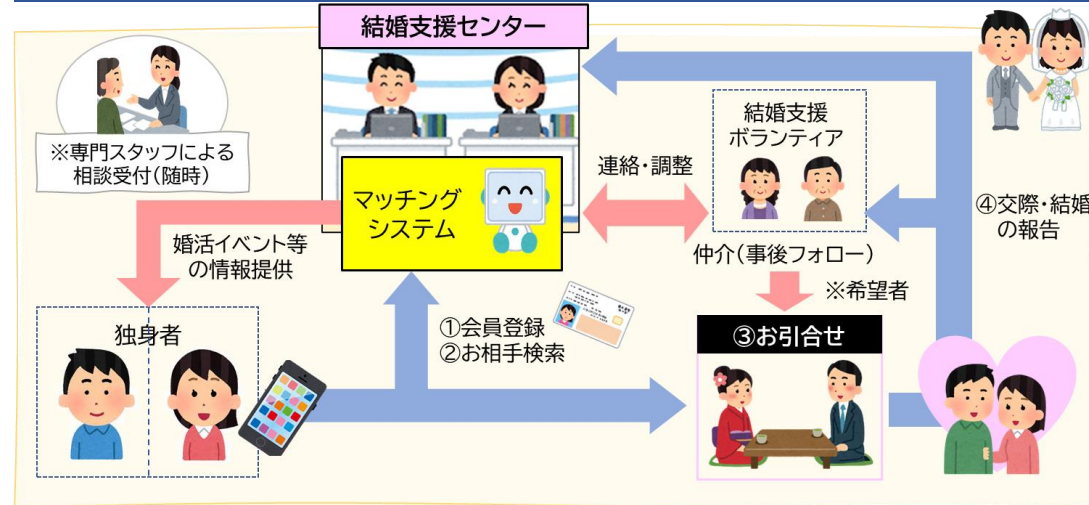
玩具等支援のイメージ



子育てアプリのイメージ



(仮称)くまもと結婚支援センターのイメージ



結婚支援センターの開設

AIマッチングシステム登録時にマイナンバーカードを活用した本人確認することで安全性・信頼性を確保しながら、結婚を希望するすべての方を支援します。

37,000千円

結婚支援

子育ての環境整備

児童手当

「こどもの権利サポートセンター」によるこどもの権利救済

こどもの権利侵害に関するあらゆる相談通報に専門的に対応するほか、タブレットを使ったこどもからのチャット相談を24時間365日体制で実施します。

24,300千円

意見表明支援員の訪問によるこどもの権利擁護の推進

意見表明支援員(アドボケート※)を確保・育成し、本市所管のすべての施設を訪問してこどもの意見表明を支援します。

※ 意見表明が困難なこどもの立場から意見を代弁する代弁者

☑支援実施施設の増

R5:4施設⇒R6:23全施設

10,400千円

こどもの居場所の確保

安心・安全な居場所を提供し、こどもや家庭が抱える課題に対し包括的に支援します。(自力通所が困難なこどもへの送迎支援を拡充)

☑こどもの居場所の支援拡充

こどもの送迎の実施

10,000千円

新たなこども食堂の開設支援

こども食堂が開設されていない空白地域に新規開設を促すためのPR動画作成やワークショップ開催による既存団体のネットワークづくりを推進します。

1,319千円
(一部R5.2補計上)

産後の母子への専門的なケアの実施

産後における育児の不安や負担、不調を訴える産婦に対し専門的なケアを行い、健やかな育児ができるよう支援します。

☑訪問型支援の追加

宿泊型・日帰り型・【訪問型】

44,000千円

「若者・ヤングケアラー支援センター」の開設

若者が抱える課題解決のため、専門的な相談支援員を配置し、アウトリーチ型の支援に加え、ヤングケアラーに関する専用相談窓口を開設するなど支援を強化します。

12,800千円

こどもの権利サポートセンターのタブレット相談の拡充

	R5事業	R6拡充される対象者／業務
対象者	✓ 市立学校の児童生徒のみ	✓ 市立以外の学校の児童生徒も対象に追加 ✓ 市内在住で、学校に通っていないこどもも対象に追加 ✓ 大人も対象に追加
業務	✓ 相談受付のみ(24時間365日) ※ センター営業日のみ対応	✓ 相談対応(24時間365日) ※随時対応 ✓ 啓発事業(こどもの権利について) ✓ 相談内容に関するデータ分析

産後ケアのイメージ



産後ケアの実施方法

- ①宿泊型 病院、助産所等の空きベッドを活用し宿泊によりケアを行う
- ②日帰り型 個別・集団での支援を行なえる施設において、日中、来所した利用者に対しケアを行う
- ③訪問型【拡充】 自宅等に助産師が訪問し、利用者に応じた必要なケアを行う

円滑な社会生活・社会的自立の実現

若者ヤングケアラー支援センターの開設		機能拡充
積極的な支援	訪問支援	訪問して相談を受け付け必要な支援につなげる
	同行支援	医療機関の受診や関係機関訪問等へ同行し支援につなげる
づく居場所	居場所設置	若者やヤングケアラーがいつでも安心して自由に過ごすことができる居場所づくり
窓口相談	ヤングケアラー専用	状況を把握し、福祉・医療・介護・教育などの関係機関につなげる
連携	関係機関	熊本市子ども・若者支援地域連絡会議構成機関ほか関係機関等との連携

部活動指導員による教員の負担軽減と指導体制の充実

14,047千円

部活動に係る専門的知識・技能を有する地域人材等を増員し、顧問教員の負担軽減や部活動の指導体制の充実を図ります。

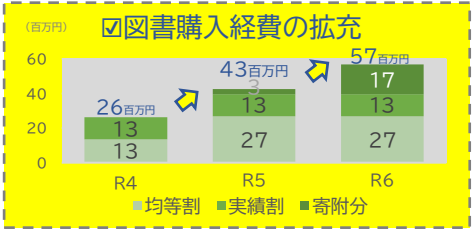
不登校対策サポーターの増員による生徒の居場所づくり

56,600千円

中学校において、別室登校者への対応などを担うサポーターを増員し、生徒の校内における教室以外の居場所づくりなど、校内支援体制の充実を図ります。

小中学校図書の蔵書の充実

令和5年度に均等割を倍増した図書購入経費を、寄附金を活用してさらに増額します。



56,892千円

教育の情報化の推進

児童生徒一人一台端末の運用や、普通教室のみに配置していた電子黒板を理科室や音楽室などの特別教室にも配置することで教育環境の充実を図ります。

1,807,400千円

大学生アシスタントとしての教育現場の体験

8,000千円

教員志望の大学生に学校で学習指導補助を通じて、現場を体験してもらうことで、志望意欲を高め教員の志願者増につなげます。

児童養護施設等の将来的な人材確保支援

49,860千円

施設の人材確保に向け、児童指導員等の資格要件取得を目指す者を補助者として雇い上げる際に、その経費を支援します。

テレワークで活躍できる多様な人材の育成

2,500千円

就労希望者のテレワークスキル習得や企業のアウトソーシングに関するセミナー等を開催し、多様な人材の活躍の機会を創出します。

学校現場における人員配置の推移

	R2	R3	R4	R5	R6	5か年増加率
スクールソーシャルワーカー (配置人数)	10	16	16	16	21	2.1倍
スクールカウンセラー (配置時間)	9,608	12,765	12,538	12,171	12,171	1.3倍
不登校対策サポーター (配置人数)	4	6	14	14	21	5.3倍
学級支援員 (配置人数)	137	138	135	168	187	1.4倍
部活動指導員 (配置校数)	5	5	5	8	11	2.2倍
大学生アシスタント (配置人数)	—	—	—	30	70	2.3倍

電子黒板を活用した授業の風景



電子黒板を特別教室にも追加配置

R5:2445台
⇒R6:3400台

電子黒板の利点

- ・タブレットと連動
- ・視覚的にわかりやすい
- ・授業の効率向上 ほか

ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち



◆ ビジョン2がめざす姿と取組の方向性

市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまちを目指し、半導体関連企業等の進出を背景に、企業誘致や創業支援、中小企業の基盤強化など地域経済全体の発展に取り組みます。

また、本市への注目や旅行需要の高まりを契機に、豊かな水と緑、良質な農水産物、歴史と文化、にぎわいに満ちた中心市街地など、本市の様々な魅力を磨き上げます。

さらに、活発な経済活動を支える広域交通ネットワークの形成に取り組むとともに、活力と魅力に満ちた持続可能な農水産業の振興にも取り組みます。

◆ ビジョンを実現するための施策

2-1 半導体関連産業等への新たな投資の後押しや中小企業等の振興	半導体関連企業の進出を好機として様々な企業が集積し、スタートアップが連鎖的に生まれ、中小企業が力強く活躍し続ける、ビジネス拠点としての地位を確立します。
2-2 世界を魅了する都市ブランド力の向上	豊かな水と緑、歴史と文化、にぎわいに満ちた中心市街地など本市の魅力を最大限に引き出し、世界が憧れ、市民が誇りを感じるまちをつくります。
2-3 交流人口拡大によるにぎわいの創出	本市の様々な魅力を最大限にいかし、人を呼び込み、地域経済の活性化とにぎわいの創出につなげます。
2-4 広域交通ネットワークの形成による物流・人流の円滑化	都市の活発な活動を支える広域交通ネットワークの形成により、ヒトとモノの流れを円滑化し、流動性を高めることで、経済発展を加速化するとともに、地域の潜在力を引き出します。
2-5 活力と魅力に満ちた持続可能な農水産業の振興	経営向上に挑戦する農漁業者を応援するとともに、安全・安心で良質な農水産物を国内外にアピールすることで、農水産業の持続的な発展を目指します。

(関連するビジョン)ビジョン5 豊かな環境を未来につなぐまち／ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

都市の発展
交流人口の増加
動植物園

中心市街地における街区単位等での面的整備の支援 3,960千円

老朽建築物等の建て替え促進に向け、通りや街区単位でエリアのまちなみルールや建て替えプランの検討を支援します。

高付加価値旅行者をターゲットとしたホテルの誘致 4,600千円

高付加価値旅行者※をターゲットとしたホテルの誘致に向けて、事業者ヒアリングや市場調査を実施します。

※ 訪日旅行1回あたりの総消費額100万円以上の旅行者

ナイトタイムエコノミーの推進や夜間景観の充実 43,500千円

飲食などを中心とした夜の魅力を発信・活用するナイトコンテンツの造成、熊本城周辺を活用したプロジェクションマッピング等による夜間景観の充実により観光誘客の強化を図ります。

大阪・関西万博を見据えたインバウンド戦略の展開 31,800千円

福岡市ほか14自治体で構成する「西日本・九州ゴールデンルートアライアンス」による広域連携での魅力の発信・プロモーションを展開します。

戦略的なMICE誘致活動の推進 90,000千円

コンベンション開催助成や、国際会議の主催者・キーパーソンとの交流会の実施、支援制度周知のための大学向けセミナーの開催等を通じて誘致を促進します。

動植物園開園100周年記念「サバンナエリア」等の整備 82,000千円

令和11年の展示開始に向け動植物園サバンナエリア等の実施設計を行います。



※ 基本設計時における想定イメージであり、今後実施設計段階で変更になる場合がある。

豊かな水と緑

「くまもと水ブランド」の情報発信 10,400千円

市民向けの「くまもと水フォーラム」の開催や国際会議「世界水フォーラム」への参加を通じ、地下水保全の取組を国内外に発信します。

緑あふれる景観形成 97,300千円

オクス通りの景観重要樹木への標識設置や市有施設の樹木の継続的な点検と危険樹木の撤去・補植を実施し、安全安心な森の都の再生に取り組みます。

食の販路拡大

鳥獣対策

経営安定化

基盤整備

農水産物の販路拡大に向けたECサイトでの個別支援

農水産物生産者がECサイトで販路を確立できるよう、サイト内容の充実や梱包の工夫などについて個別サポートを強化します。

国内外への農水産物の販路拡大

首都圏における販促プロモーションや熊本輸出促進ネットワークを活用した商社等とのマッチングの促進のほか、農協等の組織を通じた販路拡大にも取り組みます。

捕獲報酬アップによる鳥獣被害対策の強化

有害鳥獣の捕獲について、本市特産品スイカ等に被害が大きい、アナグマ・タヌキ(中型獣類)の捕獲報酬費を引き上げ鳥獣対策を強化します。

夢と活力ある農業のための支援

農業生産性を向上させるため、スマート農業の推進や自然災害対応等への対策、経営改善のための農業経営コンサルタントの活用等、農業者の主体的な取組を支援します。

土壌診断による施肥の適正化

農業者の土壌養分分析の費用を補助することにより、化学肥料使用量の適正化を図り、肥料原料の国際価格に左右されない安定した生産体制を確立します。

農業基盤整備の着実な推進

農道・用排水路等の整備のニーズに対応することにより農業経営の安定化を図ります。

3,950千円
(全額R5.2補計上)

37,800千円

22,990千円

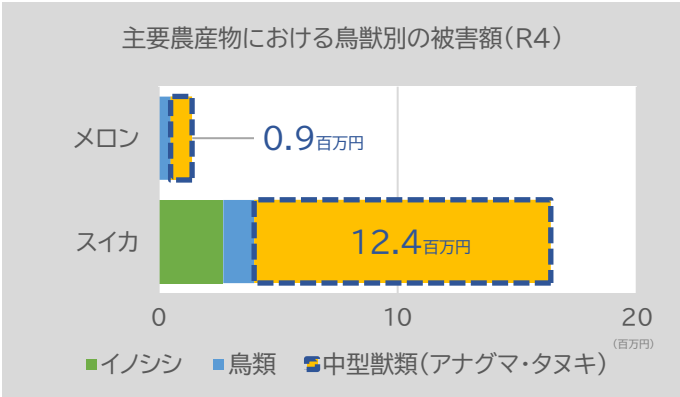
43,400千円

2,300千円
(全額R5.2補計上)

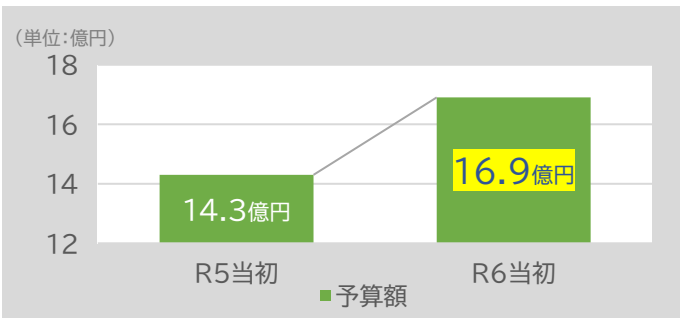
599,974千円

アナグマ・タヌキの捕獲報酬費の拡充

(単位:円)				
R5 現行	国	【市】	【市】 上乗せ	R6 以降
生活被害	0	0	2,000	2,000
農業被害	1,000	0	1,000	2,000



農業基盤整備・排水機場の更新等の予算規模の拡大



生産性向上の取組例



ビニールハウス内環境モニタリング
温度や湿度等の環境をモニタリングして見える化



乗用型薬剤散布機(樹園地)
農薬等を均一に散布可能⇒防除作業を効率化

☑排水機場更新10か年計画
老朽化が課題となっている農業用排水機場の整備にも計画的に取り組めます。
10年間(R5~):33億円程度



◆ ビジョン3がめざす姿と取組の方向性

あらゆる危機事象から市民の生命と健康、暮らしを守る強くしなやかなまちを目指し、熊本地震や過去の風水害、新型コロナウイルス感染症などへの対応で得た教訓を踏まえ、市民や地域、民間事業者と協力しながら、ハード・ソフト両面の対策に取り組めます。

さらに、安全・安心なまちづくりに向け、交通安全・防犯、消防・救急体制の整備を進めるとともに、質の高い救急及び医療体制の充実を図ります。

◆ ビジョンを実現するための施策

3-1 防災・減災の推進	これまでの災害の教訓をいかし、地域防災力の最大化に努めながらハード・ソフトの両面から対策を進め、激甚化する災害や多様化する危機事象から市民生活を守ります。
3-2 保健衛生体制の強化と医療提供体制の確保	新型コロナウイルス感染症の経験をいかし、感染症等の健康危機発生・拡大に迅速に対応できる保健衛生体制の強化を図ります。また、関係機関等との連携により、医療提供体制の確保、生活衛生の充実に努めます。
3-3 総合的な消防・救急体制の強化	消防・救急体制の更なる充実を図り、市民の生命と財産を守ります。
3-4 交通安全・防犯の推進	交通事故や犯罪などのない安全で安心して暮らせるまちづくり、犯罪被害者に優しいまちづくりを推進します。また、交通事故や犯罪被害に遭わないよう、平時から交通安全や防犯の啓発に取り組めます。

(関連するビジョン)ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち／ビジョン6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち／ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

ビジョン3 市民生活を守る強くしなやかなまち

拠点整備

防災情報

犯罪被害

医療

新庁舎整備の推進 43,000千円

新庁舎整備に関し、市民への情報提供・合意形成に取り組むとともに、庁舎の機能・規模や建設地、事業手法などの検討を行い、新庁舎整備を推進します。

西消防署の移転による1区1署体制の確立 401,000千円

西消防署を中央区から西区に移転することで、災害活動対応等の課題に対応し、消防体制の充実強化を図ります。

西消防署小島出張所の移転 14,700千円

建物の老朽化や大規模洪水による浸水可能性のある小島出張所を移転するための設計に着手します。

ハザードマップの機能強化による適切な避難行動の促進 15,400千円

より分かりやすいハザードマップとするため、表示情報を追加する改修を行うほか、視覚障がい者にも対応するため読み上げ機能を追加します。

防災情報を確実に届けるための機器等の整備 361,900千円

緊急告知ラジオの電波不感地区解消のための中継局等の整備や、防災行政無線の屋外子局を増設します。

犯罪被害者等に対する見舞金制度の創設 3,130千円

犯罪被害者等に対し、市独自の見舞金制度を創設し経済的支援を行うほか、犯罪被害者等の実情に対する理解促進のための広報啓発等を行います。

新型コロナウイルスワクチン接種経費 428,000千円

定期接種化後のワクチン接種体制を確保します。

医療用ウィッグ等の購入助成によるアピアランスケア※の推進 5,690千円

がん治療に伴う外見の変化を補完するための医療用ウィッグや乳房補整具等の購入費用の一部を助成し、患者の心理的・経済的な負担を軽減します。

※ 外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケアのこと

新・西消防署移転先候補地



ハザードマップの機能拡充



現行のハザードマップ



新たなハザードマップ

これまでリンク先でしか表示されなかったアンダーパス等の情報が**本市のハザードマップ**に直接表示されるようになる

アピアランスケアの助成内容

対象	助成金額
ウィッグ等	購入額の1/2 (上限額2万円)
シリコンパッド	購入額の1/2 (上限額1万円)
人工乳房	購入額の1/2 (上限額2万円)



◆ ビジョン4がめざす姿と取組の方向性

だれもが自分らしく生きることができるよう、ダイバーシティ(多様性)を推進し、性別、国籍、出身地、年齢、障がいの有無などによって差別や偏見を受けることがなく、人権が尊重され、お互いを認め合う人権尊重社会を実現します。

また、高齢者が生涯現役で安心して暮らすことができ、障がいのある人がいきいきと生活し、自分らしく活躍できる社会を推進するとともに、お互いがつなぎ支え合う地域づくり、誰一人取り残さない社会の実現に取り組みます。

さらに、男女共同参画の推進により、性別にかかわらず、だれもが自らの意思や意欲に応じて、社会のあらゆる場面で能力を発揮できる環境整備に取り組みます。

くわえて、増加する在住外国人と地域住民とが、お互いの価値観を尊重し合える暮らしやすいまちづくりを進めます。

◆ ビジョンを実現するための施策

4-1 人権尊重社会の実現	人権に対する市民の意識が高まることで、お互いの権利が尊重され、だれもが自分らしく生活できるまちを実現します。
4-2 だれもが生きがいを持ち、お互いに支え合える社会の実現	年齢や障がいの有無などにかかわらず、だれもが生きがいと尊厳を持って暮らし、お互いがつなぎ支え合うまちをつくります。
4-3 男女共同参画の推進	固定的性別役割分担意識や無意識の思い込みの解消により、性別にかかわらず、だれもが自らの意思と意欲に応じて、社会に参画できるようにします。
4-4 多文化共生の推進	本市に生活・滞在する外国人への、必要な情報の提供や様々な支援の充実とともに、国籍や言語の違いを越え、お互いの文化や価値観の相互理解と交流を促進することで、多文化共生を実現します。

「バリアフルレストラン」の開催による心のバリアフリーの推進

車いすユーザーと立って歩く人の割合が逆転している架空の社会の演出により、障がいの要因は社会側にあることを直感的に理解できるプログラムを実施し、心のバリアフリーを促進します。

3,000千円

バリアフルレストランのイメージ



提供：(公財)日本ケアフィット共育機構

運動プログラムのイメージ



※ 写真は令和5年度に実施したロアッソウェルネスプログラムの様子

民間活力を活用した健康づくり

プロスポーツチーム等と連携して開発した運動プログラムを介護予防教室で実施し、誰でも気軽に楽しく健康づくりに取り組める環境の整備を推進します。

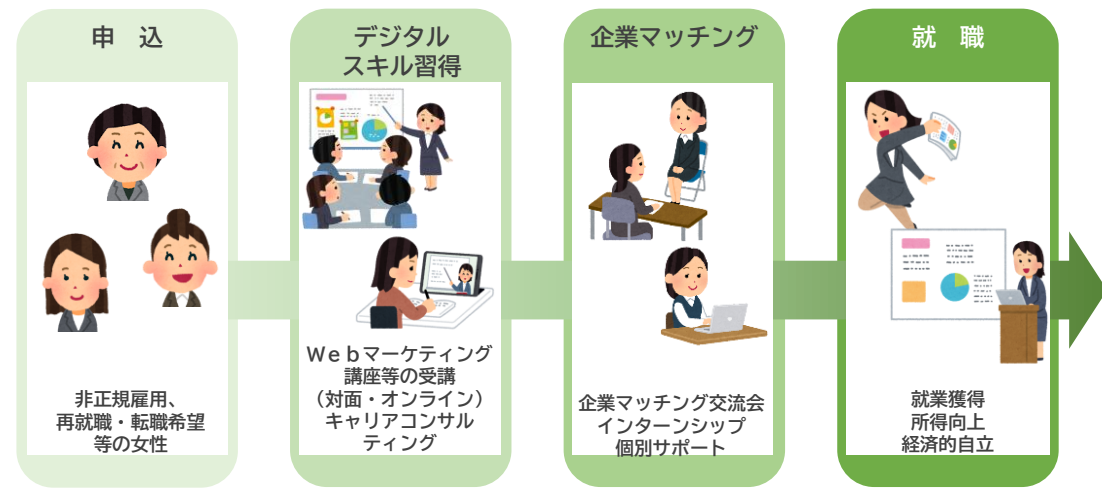
29,000千円

女性のデジタルスキル習得と就職に向けた伴走型支援

非正規労働者の割合が高い女性向けに、企業が求める即戦力となるスキル習得や企業と就労者をマッチングする就労支援を実施します。

5,000千円

女性のキャリアアップ支援のイメージ



庁内の翻訳・通訳体制の強化

台湾からの転入者増加を見据え、行政文書の繁体字等への翻訳や通訳体制を強化します。

3,722千円

ヴィーガン・ベジタリアン等の多様な食文化の尊重

飲食店や宿泊施設等向けに、食の多様性のセミナーの開催やメニュー開発支援を実施し、多様な旅行者のニーズに対応します。

4,000千円

ビジョン5 豊かな環境を未来につなぐまち



◆ ビジョン5がめざす姿と取組の方向性

「恵まれた環境をまもり、はぐくみ、未来へつなぐ、持続可能な環境都市」を目指し、清らかな地下水や大気、快適で安全・安心な生活環境の保全に加え、その環境をもたらす生物多様性の保全に取り組みます。

また、大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会経済活動や生活様式を見直し、3R+リニューアブル(再生可能な資源への置き換え)の取組を進めながら、化石燃料等の枯渇性資源の消費を抑制し、環境への負荷が低減される循環型都市を目指します。

さらに、地球温暖化を防止するため、その原因となる温室効果ガスの排出を削減する取組を推進し、「2050年カーボンニュートラル」の実現を目指します。

◆ ビジョンを実現するための施策

5-1 カーボンニュートラルの実現	2050年カーボンニュートラルの実現を目指し、温室効果ガスの排出を削減する地球温暖化対策を推進します。
5-2 生物多様性の保全と自然との共生	私たちの生活に様々な恵みをもたらす生物多様性の保全に向け市民・事業者の行動変容を促すとともに、生物多様性を維持・回復させることで、自然と共生する社会を目指します。
5-3 持続可能な循環型都市の実現	ごみの減量化や資源化などに取り組むことで、環境負荷の少ない、循環型都市を目指します。また、災害時においても安定した廃棄物処理体制を確立します。
5-4 快適で安全・安心な生活環境の保全	私たちの生活に欠かせない水や大気が良好に保たれた快適で安全・安心な生活環境を保全します。また、人と動物が共生するより良い社会を目指して、動物の愛護と適切な管理、野生動物による生活被害への対策を推進します。

(関連するビジョン)ビジョン2 市民に愛され、世界に選ばれる、持続的な発展を実現するまち／ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

地下水を未来につなげるための地下水かん養の促進 77,330千円

白川中流域において水田湛水を行う農家に対する助成金の拡充により、熊本地域の住民・事業者・行政との協働による地下水保全の取組を強化します。また、くまもと地下水財団への負担金の増額により、財団が実施する地下水かん養事業の促進を図ります。

☑ 湛水助成金の単価拡充

10a・月あたり:11千円⇒19千円

水源かん養林の整備による地下水保全 62,300千円

西原村や大津町等で水源かん養林としての森林整備を実施します。

☑ 水源かん養林の面積拡大

883haから約30ha拡大

地下水及び公共用水域の監視強化 2,935千円

地下水及び公共用水域の調査地点を追加するとともに、新たにPFOS・PFOA※等の監視項目を追加するなど、水質汚染の監視を拡充・強化します。

※ 難分解性、高蓄積性、長距離移動性という性質がある有機フッ素化合物で、人の健康への影響が指摘されている

(仮称)環境影響評価条例制定による環境保全の推進 12,900千円

自然環境などの保全のため、事業計画段階から、事業者自らが環境への影響を調査・予測及び評価を行う(仮称)環境影響評価条例の制定に取り組みます。

熊本連携中枢都市圏における電力の脱炭素化事業の加速化 89,995千円

国の交付金を活用し、都市圏の市町村が実施する太陽光発電設備の導入やZEB化等の脱炭素化事業の加速化を図ります。

☑ 熊本市取組分

太陽光発電設備等:9,700千円

省エネ家電、電気自動車等を導入する個人・事業者への補助 152,790千円 (一部R5.2補計上)

環境工場の余剰電力を活用した市有施設の電気料金削減効果の一部を活用し、省エネルギー機器等の導入を支援します。

☑ 省エネ家電※の補助

補助単価倍増:1万円⇒2万円

※ 対象省エネ家電:エアコン、冷蔵庫、冷凍庫、LED照明

地下水かん養の取組



水田湛水



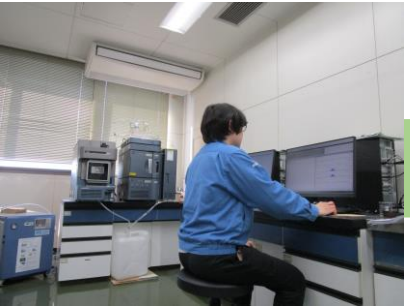
水源かん養林の整備



水質調査の様子



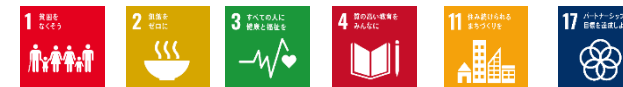
検体の採取



環境総合センターでの精密な検査

安全性の確認

ビジョン6 すべての市民がより良い暮らしを営むまち



◆ ビジョン6がめざす姿と取組の方向性

すべての市民の生活の質の維持・向上のため、多様な人々が交流し、社会とつながる地域コミュニティづくりを支援します。

さらに、人生100年時代、すべての市民が健康で、学びやスポーツなどの生きがいを持ちながら豊かな人生を送ることができるよう支援するとともに、身近に文化芸術に親しむことができるまちづくりを進めます。

また、市民の安心を確保するため、社会保障制度を適切に運営します。

◆ ビジョンを実現するための施策

6-1 地域コミュニティ活性化の推進	地域に住むあらゆる人々が主体的に関わり、行政や事業者などと協働しながら、互いに温かく見守り、支え合うことのできる地域コミュニティを維持し、更なる活性化を推進します。
6-2 人生100年時代を生きるための健康づくりの推進	「自らの健康は自ら守る」という健康意識を更に高め、ライフステージに応じた市民の健康づくりの実践・継続を促すことで、健康寿命の延伸につなげます。
6-3 生涯にわたる学びやスポーツの推進	生涯にわたって学びやスポーツを楽しめる環境を整え、市民の成長と自己実現につなげ、その成果が地域でいかされるような環境をつくります。
6-4 文化芸術が持つ多様な価値の活用	本市が誇る歴史的文化遺産が適切に保存されるとともに、文化芸術に触れる機会が多く提供され、多くの市民が文化芸術に親しめるまちづくりを進めます。
6-5 市民の安心を確保するための社会保障制度の運営	社会保障制度を適切に運営するとともに、生活困窮者への適切な支援ができる体制を整えます。

(関連するビジョン)ビジョン1 こどもが輝き、若者が希望を抱くまち／ビジョン3 市民生活を守る強くしなやかなまち／ビジョン4 だれもが自分らしくいきいきと生活できるまち

節目年齢における歯科健診実施による口腔保健の推進 17,800千円

令和6年度に節目年齢を迎える市民を対象に歯科健診を勧奨し、若年期からの歯周疾患の早期発見及び将来の歯周病罹患率の減少を図ります。

- ☑20歳、30歳の対象追加
- 【20歳】、【30歳】、40歳、…、70歳

健康ポイント付与による健康づくり 71,100千円

健康づくり活動を推進するため、健康ポイントアプリを熊本連携中枢都市圏で共同運用し、圏域の自主的な健康づくりを支援します。

- ☑インセンティブの強化
- 各抽選会やイベント商品数の充実

「くまもとアプリ」を活用した地域活動の活性化 20,540千円

マイナンバーカードと紐付けたポイントアプリを導入し、ポイント等のインセンティブを付与するとともに、地域活動への参加を「見える化」することで、活動の活性化を図ります。

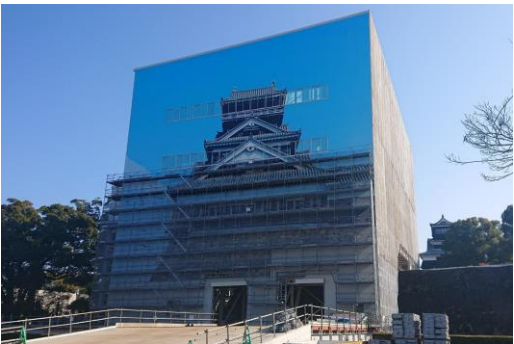
熊本の食文化の伝承「いきなり団子プロジェクト」の実施 2,000千円

小中学生を対象とした郷土料理教室の実施や地元の農産物を活用した「熊本のごはん」レシピ集の周知啓発により食育を推進します。

熊本城の文化的価値保全と計画的復旧 2,013,177千円

宇土櫓(五階櫓)解体保存工事や本丸御殿大広間復旧設計委託等を実施するほか、重要文化財防火対策検討を実施します

宇土櫓（五階櫓）解体保存工事



宇土櫓解体保存工事外観



宇土櫓解体保存工事内部の様子

くまもとアプリのイメージ



※ こちらは画面イメージです。

アプリの機能		
ポイント関連	連携	・ マイナンバーカードと連携
	付与	・ 地域活動をした場合 ・ 災害ボランティアに参加した場合
	交換	・ 活動証明書の発行 ・ 商業的利用※令和7年度以降に実施予定
災害時	情報管理	・ 避難所入所時の名簿管理 ・ 災害ボランティア受付

熊本ならではの漱石文化の振興

夏目漱石第6旧居の取得に合わせ、夏目漱石の熊本におけるエピソードや人間模様を描いたドラマ放映を契機とした漱石文化の振興を図ります。

10,000千円

熊本の工芸品の開発インターンシップによる魅力の発信

全国からインターンシップ生を募集し工芸品の新商品開発を行うほか、工芸品に触れるイベント開催による魅力発信に取り組みます。

5,185千円

記念館におけるイベント開催による認知度向上や魅力発信

令和5年度に好評を博した記念館イベントの実施やノベルティ作成により記念館の活用を促進します。

51,500千円

友好都市・ハイデルベルク市とのスポーツ交流の実施

ドイツ・ハイデルベルク市との協定に基づき、本市のこどもたちをハイデルベルク市に派遣し、サッカーを通じて交流を深めます。

13,200千円

生涯スポーツマスタープランの全面的な見直し

生涯にわたりスポーツに親しみ、様々なスポーツを通じて交流が生まれるよう、地域特性、市民ニーズに応じた次期計画を策定します。

7,600千円

県市連携で運営する夜間中学による学び直しの機会の提供

令和6年4月に開校する県立夜間中学の開校準備経費や運営経費に対し市として負担金を拠出します。

33,398千円

記念館でのイベントイメージ



ジェーンズ邸クリスマスマーケット



小泉八雲旧居お化け屋敷

夜間学校について



県市で設置する夜間中学校の外観

夜間中学について

- 夜間中学とは、公立の中学校の夜間学級のこと
- 文部科学省では、夜間中学が少なくとも各都道府県・指定都市に1校は設置されるよう、その設置を促進している
- 本市は、学びの場の確保のため、県と連携協力するもの

ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち



◆ ビジョン7がめざす姿と取組の方向性

安全で良好な都市基盤の形成に向け、都市機能の維持・確保と適正な土地利用を推進し、人口減少社会に対応した、災害に強いまちづくりを進めるとともに、地域の特性をいかした良好な景観形成に努めます。

また、広域道路ネットワークや都市計画道路、幹線道路の整備を進めるとともに、効率的・効果的な維持管理に努め、良好な道路環境の実現に取り組みます。さらに、上下水道等のインフラの整備や、市有建築物の安全対策、良好な居住環境の形成、空き家対策に取り組みます。

くわえて、バス、市電、自転車などの交通モードと自動車交通の組合せにより、だれもが移動しやすいまちの実現に向けて取り組みます。

◆ ビジョンを実現するための施策

7-1 持続可能で魅力的な都市づくり	バランスとメリハリの利いた土地利用の下、災害に強く、良好な景観が形成された多核連携都市を実現します。また、良好な道路環境の実現と持続可能で利便性の高い公共交通体系の構築により、安全で快適な移動を実現するとともに、市有建築物の安全対策を推進します。
7-2 豊かな住生活の実現	生活様式や世帯構成の変化・多様化に対応しながら、防災・防犯上の心配が少ない、安心して暮らせる豊かな住生活を実現します。
7-3 安全で持続可能な上下水道サービスの提供	上下水道施設の適切な維持管理と計画的な整備を行うとともに、災害に強く、すべての市民が安心して利用できる上下水道サービスを提供します。

ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

公共交通

住環境

まちなかフリーパス実証実験による利用促進

180円均一エリアにおいて、土日祝日に路線バスを300円で1日乗り放題となるデジタルチケットによる実証実験の実施等を通じバス利用の促進を図ります。

AIデマンドタクシーによる移動環境の整備

西南及び植木エリアにおいて、AIデマンドタクシーの本格運行を開始するほか、東エリアでは実証実験を継続します。

「バス・電車無料の日」の実施による公共交通の利用定着

自動車から公共交通への転換や渋滞緩和効果の更なる向上のため、連携中枢都市圏構成市町村と連携した無料キャンペーンを実施します。

市電開業100周年記念事業

市民や観光客に、市電が身近な交通手段であることを改めて認識いただき、市電をはじめとする公共交通の利用促進等を図るため、記念式典や各種イベント等の開催、記念誌の発行等を行います。

空き家の除却やリフォーム補助等による空き家を減らす取組

危険な空き家を未然に防ぐ予防的な除却補助や中古リフォーム補助による対策のほか、財産管理人の選任による財産や土地処分等の対策を強化します。

市営住宅の管理戸数の適正化に向けた方針策定

適正管理戸数に向けた計画の第Ⅰ期分として、約500世帯を対象に意向調査、入居者カルテ作成、団地ごとの適正化方針を策定します。

24,000千円

55,200千円

40,000千円

21,000千円

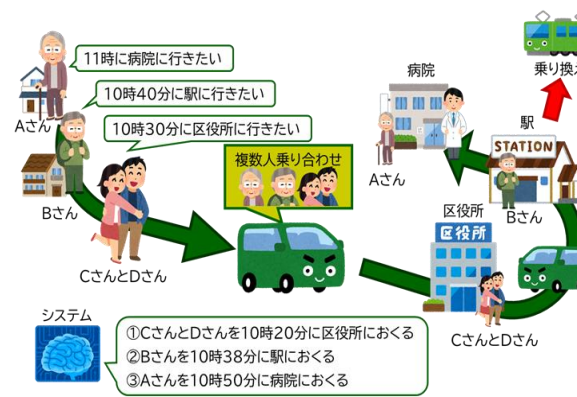
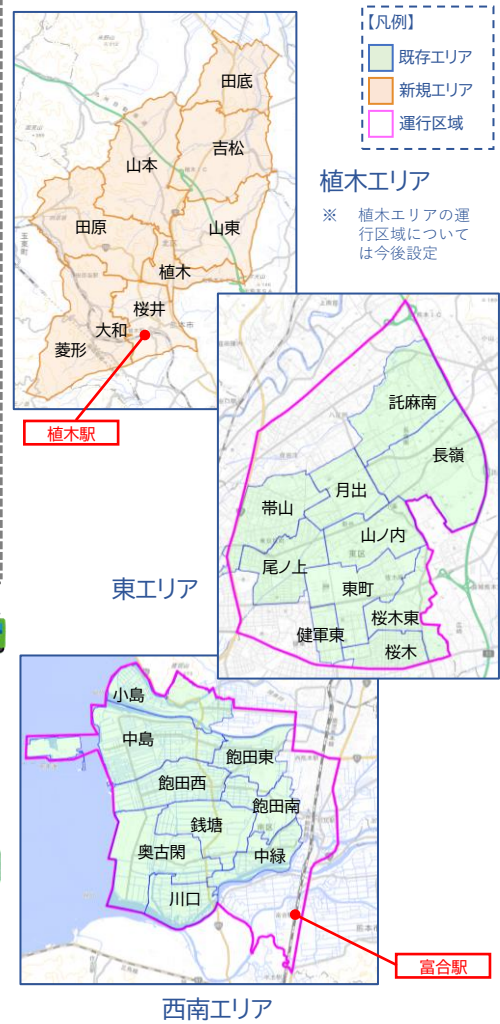
87,500千円

13,300千円

まちなかフリーパスのエリア



AIデマンドタクシーのイメージ



ビジョン7 安全で良好な都市基盤が整備されたまち

駅周辺
中心市街地
自転車
道路整備
上下水道

熊本駅新幹線口駅前広場の渋滞解消

熊本駅新幹線口駅前広場の渋滞解消に向け、具体的な設計業務を実施します。

70,100千円

中心市街地における歩いて楽しめるまちづくり

安全・安心に回遊でき、昼も夜も歩いて楽しめるまちづくりのため、歩道を拡幅(車線を減少)させた場合の交通への影響を調査する社会実験を実施します。

49,200千円

歴史まちづくり事業

城下町地区の中心に位置し、歴史的建造物の活用が進められている唐人町通りの道路美装化工事に向けて、明八橋周辺の一部区間を先行的に着手します。

66,200千円

自転車利用環境の整備

サイクル&ライド駐輪場の整備や新水前寺駅駐輪場の上屋整備のほか、放置自転車禁止ピクト設置により快適な自転車利用環境を整備します。

29,000千円

「10分・20分構想」の推進

市中心部から高速道路ICや熊本空港までのアクセスを強化する「10分・20分」構想の実現に向けて、住民参加型の道路計画検討や環境保全に関する調査等に取り組みます。

261,000千円

熊本西環状道路の整備推進

池上工区の令和7年度開通及び砂原工区の早期開通に向けて整備を推進します。

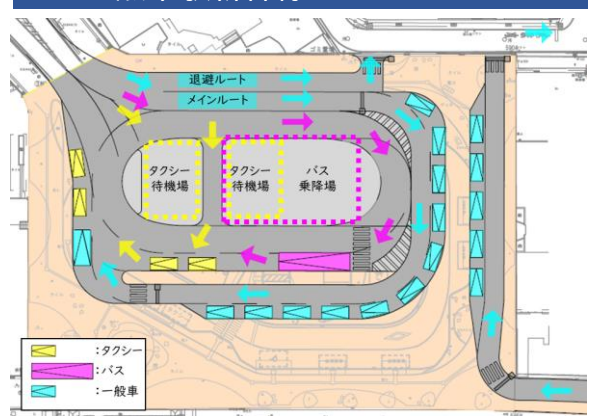
4,974,500千円
(R5補正含む)

水道100周年記念事業

令和6年度、本市の水道は、通水100周年を迎えます。「感謝」、「誇り」、「誓い」をコンセプトに記念事業(記念式典、花畑広場併設イベント等)を実施します。

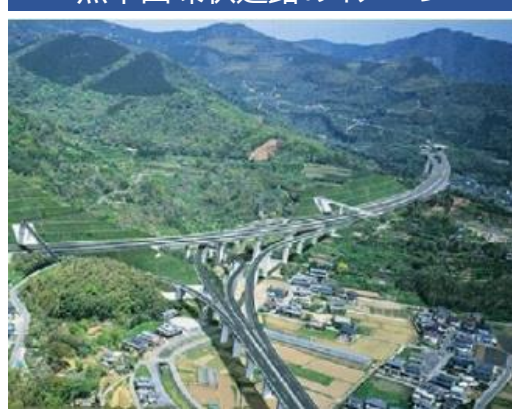
24,219千円

熊本駅新幹線口のイメージ



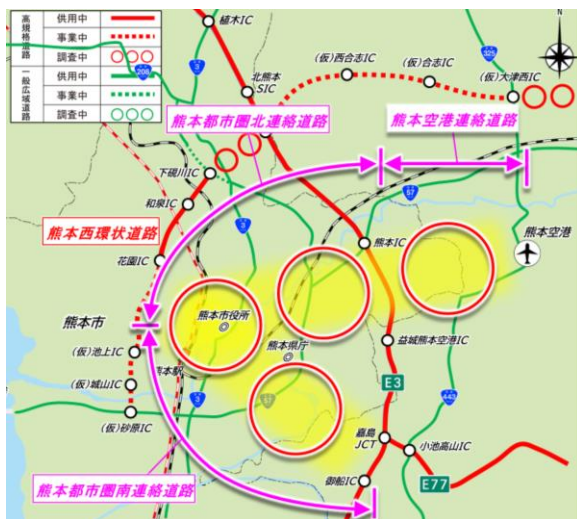
新幹線口駅前広場の改修

熊本西環状道路のイメージ



池上・砂原工区

10分・20分構想 (都市圏3連絡道路)の イメージ



水道100周年記念ロゴマーク





◆ ビジョン8がめざす姿と取組の方向性

市民に信頼される市役所の実現に向け、質の高い行政サービスを提供し続けます。

そのために、限られた行政資源を効果的・効率的に活用することで、行政サービスの質の向上に努めるとともに、将来にわたって持続可能な行財政運営を推進します。

また、多様化・複雑化する行政課題に対応するため、企画立案能力や課題解決能力の高い職員の育成に努めます。

さらに、市民の参画と協働を推進し、行政情報を広く発信しながら、市民の意見を政策に反映するとともに、行政情報の適切な管理、公開に取り組みます。

くわえて、近隣市町村をはじめ、政令指定都市や九州各都市、熊本県等と課題や目指すべき将来像を共有し、広域的な取組を強化します。

◆ ビジョンを実現するための施策

8-1 行政サービスの質の向上と持続可能な行財政運営の推進	限られた行政資源を効果的・効率的に活用するとともに、職員の企画立案能力等を向上させることにより、行政サービスの質の向上に努め、将来にわたって持続可能な行財政運営を行います。
8-2 開かれた市役所の実現	市民が市政について知る機会が充実するとともに、多様な市民が市政に参画し、意見が政策に反映される開かれた市役所を実現します。
8-3 市域を越えた広域的な連携の強化	政令指定都市及び熊本連携中枢都市圏の連携中枢都市としての役割を果たしながら、他の市町村等との連携を更に強化し、広域的な課題を解決します。

新総合計画をアートの視点で発信 12,000千円

令和6年4月にスタートする「熊本市第8次総合計画」を市民に分かりやすく伝えるイベントをアートの視点も交えて熊本市現代美術館で開催し周知を図ります。

市ホームページを情報が探しやすいサイトへ改修 12,100千円

トップページデザインの改修や、サイト内独自検索機能の追加により、必要な情報を簡易に探すことができるホームページへと改修します。

公契約条例制定に向けた検討会議の開催 400千円

令和8年度の条例施行に向け、有識者等で構成される検討会議を開催します。

医療費助成の申請手続きの簡便化 72,100千円

こども、ひとり親世帯、重度心身障がい者(児)に対する医療費助成制度に係る審査支払業務を委託化することで申請・受付双方で負担軽減を図ります。

医療費関係申請の負担軽減
来庁する年間約5万人のうち
約43%が来庁せずに申請手続き可

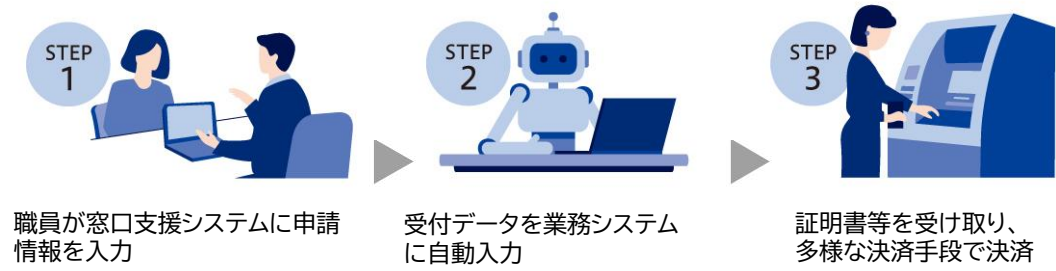
行かない・書かない・待たない窓口の推進 45,400千円

区役所の窓口業務の課題分析及び業務フローの見直しなどの業務改善(BPR)に取り組み、書かない窓口の導入検討を進めます。

多様な決済手段の導入 41,752千円

市の窓口におけるキャッシュレス化や現金取り扱い時のミス削減等のためセミセルフレジを導入します。

書かない窓口のイメージ



複数の窓口で情報連携
例)転入時、住民票の転入手続きを行うと、国保窓口では情報が連携されるため書類の一部が記載不要となる。

データ利活用の環境整備やEBPM※の推進 44,100千円

データを利活用できる人材の育成や、データを活用した企画立案の伴走支援のほか、庁内各課に蓄積されたデータを活用可能な状態にする環境整備を実施します。

※ 証拠に基づいた政策立案のこと

業務改革

デジタル人材の育成 4,428千円

デジタルに関する高度専門資格の取得やDXの実践に向けたスキルの習得を支援し、専門性の高いデジタル人材の育成に取り組みます。

定型業務の集約化による業務改善 48,000千円

各部署で対応している類似の定型業務を(仮称)総合行政事務センターに集約し、効率的に処理することで、行政サービスの質の改善を図ります。

区における自主自立のまちづくり

- めざすまちづくり
 - 少子・高齢化や人口減少が進行する中、持続的な地域社会を維持するためには、あらゆる住民がつながり、お互いが助け合い、支え合う住民主体の地域コミュニティがより重要となります。そこで、地域と一緒にあって課題の解決に取り組むなど、住民自らの創意工夫による自主自立のまちづくりを支援します。

● まちづくり支援の方針 <table><tr><td>地域の魅力を いかした特色ある まちづくりの推進</td><td>つながり、 支え合える 環境づくりと 多様な主体の連携 の促進</td></tr><tr><td>地域活動に参加 しやすく、生きがい が持てる仕組み作り の推進</td><td>デジタル技術の活用 による地域の課題 解決・魅力向上</td></tr></table>		地域の魅力を いかした特色ある まちづくりの推進	つながり、 支え合える 環境づくりと 多様な主体の連携 の促進	地域活動に参加 しやすく、生きがい が持てる仕組み作り の推進	デジタル技術の活用 による地域の課題 解決・魅力向上	新たな出会いと未来創造の都会 ～つながる、中央区。～ ● 本市内のマンションの3分の2近くが中央区に存在し、マンション居住世帯数の割合が極めて高いことや、在住外国人が他区に比べ比較的多いことなど、地域に暮らす人々の価値観やライフスタイルが多様化していることを踏まえると、複雑化した地域課題に対応した新たな地域コミュニティの構築が求められています。	自然豊かな 笑顔あふれる未来のまち 東区 ● 高齢化等の影響による地域団体の担い手不足や地域活動への参加者減少など様々な課題解決に向けて、地域貢献に積極的な事業者等が多いことなどをいかし、区役所と住民、事業者などが協働してまちづくりを進めていきます。
地域の魅力を いかした特色ある まちづくりの推進	つながり、 支え合える 環境づくりと 多様な主体の連携 の促進						
地域活動に参加 しやすく、生きがい が持てる仕組み作り の推進	デジタル技術の活用 による地域の課題 解決・魅力向上						
金峰望む 華のあるまち西区 ● 地理的特徴や都市構造の違いから、「金峰山系」「有明海沿岸」「上熊本周辺」「熊本駅周辺」「西部」の5つのエリア毎に課題を整理し、地域の実情に応じたまちづくりに取り組むことで、それぞれの地域力を高めていきます。	～みんなでつなぎ、みがき、ひろげる～ いきいき暮らしのまち 南区 ● 区域内における人口増加地域と減少地域の二極化、慢性的な交通渋滞や利便性の低い地域公共交通、町内自治会・農漁業・文化活動などあらゆる分野の担い手育成などの地域課題解決に取り組み、地域の特性に応じた魅力あるまちづくりを目指します。	ず～っと住みたい“わがまち北区” ～歴史・自然・文化・人がつながり個性輝くまちをめざします～ ● 隣接する菊陽町に、世界最大の半導体企業が進出したことで、今後、人口増加と地域経済の活性化が期待されます。これを好機と捉えて、各地域の良さを引き出すことで区全体の交流や区民と区役所の協働を更に促し、区民満足度の高い魅力あるまちづくりを進めていきます。					

区における自主自立のまちづくり

中央区
東区
西区

地域と企業等を結ぶ応援事業 1,000千円

地域団体と地域貢献に関心のある企業や大学等をマッチングして連携事業を創出することで、多様化する地域課題の解決や地域活性化を図ります。



健康まちづくり「元気チャージプロジェクト」の推進 1,000千円

食、健康、歯科に関する啓発動画の作成やイベントを通じて区民の健康づくりへの関心を高めます。



Instagramを活用した地域活性化 1,841千円

東区公式Instagramを使って東区の魅力を区民へ情報発信し、地域への郷土愛を育み、地域活動参加の増加につなげます。



地元高校生による地域の活性化 1,000千円

まちづくり事業を地元高校生が企画、実施し、その親世代を含めた幅広い世代への地域活動への意識づけを図ります。



校区単位の健康まちづくり 1,402千円

健康課題や生活習慣改善に関する動画発信や簡易検査・保健指導の機会を通じて、健康づくりの取組につなげます。



地域防災力の向上 1,741千円

地域主体の防災訓練の実施や防災シンポジウムの開催等を通じて、防災対応力の向上を図ります。



南区
北区
5区共通

防災バスツアーの開催 758千円

県内の震災遺構等を巡るバスツアーを企画し、熊本地震の記憶の風化を防ぐとともに、区民の防災意識の向上を図ります。



史跡等を巡るデジタルスタンプラリー開催 1,000千円

スマホアプリを活用した区内の文化財や史跡等を巡るスタンプラリーを開催し、健康増進や魅力再発見を促すとともに、デジタル化への区民の関心を高めます。



北区こどもまつりの開催 3,900千円

様々な世代がこどもを通して親睦と交流を図るため、地域団体等と行政が協力して開催することにより、世代間交流を促進させ、区の一体感の醸成につなげます。



「北区の魅力！」発信事業 1,181千円

区の花「ひまわり」等を活用し小学生を対象にした絵画コンクールの実施やひまわりの種を学校等への配布などを通して、区民の地元への愛着を深めます。



地域担当職員研修の実施 1,000千円

課題分析等のまちづくりコーディネーターとしての資質向上のための研修を実施します。

まちづくり活動の周知やイメージアップ 1,181千円

まちづくり活動そのものの周知やイメージアップといった全市共通の広報啓発を実施します。

まちづくり推進経費
各区19百万円
共通5百万円
計1億円



熊本市
政策局 総合政策部 政策企画課
TEL:096-328-2035 FAX:096-324-1713
E-mail:seisakukikaku@city.kumamoto.lg.jp